憲法ニュース

愛知県労働組合総連合
2007年12月13日
第　20　号

「小沢代表についていく」

民主・谷岡、木俣参議院議員

新テロ特措法を許すな！
12.5地元参議員要請行動報告

報告者　愛商連　野村直之

12月3日「新テロ特措法反対県民集会」に寄せられたカンパ36,060円の一部で、愛商連の野村さんが、地元参議院議員を国会に訪ねました。以下、その報告です。

12月5日参議院議員会館前で新テロ特措法反対署名の愛知3432名分を届け、愛知選出参議院議員に陳情に行きました。

鈴木政二（自民）氏は、秘書が応対したが、12.3の集会と決議を渡し、国会の様子を聞いたが秘書は「聞いていない。」国対委員長なのでこちら（議員会館）に来ていないと答えた。

木俣佳丈（民主）氏は、秘書が応対したが、12.3の集会と決議を渡し、議員の様子を聞いたら「小沢代表についていくので小沢さんがぶれない限り大丈夫です。」と回答しました。

佐藤泰介（民主）氏は、秘書が応対したが、12.3の集会と決議を渡したら、「議員に伝えます」と回答。

谷岡郁子（民主）氏は、秘書が応対したが、12.3の集会と決議を渡したら、「小沢代表についていくので」と回答。

荒木清寛（公明）氏は、秘書が応対したが、12.3の集会と決議を渡したら、「公明党は与党なので」「テロ特措法は国益のためと言うが国益とはどのようなことか」と質問。「テロを阻止することだ」と回答。「アメリカは6年間、アフガンで戦争しているがテロはなくなるどころか増えているのではないか」と批判すると「テロを減らしてきた」と言い訳。「国連の決議にもとづく戦争」とごまかしたので「国連決議のどこが戦争を支持しているか」と追求。「支持しているわけではないが、テロをなくそうと書いてある」と言い訳。「先ほどの話と違うではないか。戦争より国民の生活を考えて欲しい」と言って次ぎの議員に行く。

大塚耕平（民主）氏は、秘書が応対したが、12.3の集会と決議を渡したら、「議員に伝えます」と回答。

井上哲士（共産）氏は、秘書が応対したが、12.3の集会と決議を渡したら、「トヨタの過労死裁判で厚労相にいっている」と秘書氏。「民主党も定例日以外に応じないと言っている」と私。「衆議院で48時間、参議院では昨日含めて24時間、6割にも満たない。再延長の可能性が強い」と秘書氏。「民主党は再延長に応じられないと言っている」と秘書氏。「守屋氏の防衛省疑惑で再延長で藪から蛇がでないとも言えないので再延長もむずかしいかも」と私。「そうですね」と秘書氏。「頑張ってください」と激励して移動。

浅野勝人（自民）氏は、秘書が応対したが、12.3の集会と決議を渡したら、「議員に伝えます」と回答。

この後、議員会館前で座り込み部隊と合流し、12時15分から昼休み集会には、250人が参加しました。

ご苦労様でした。